

くすのき だより

心

ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.
32

2020年
6月発行



撮影場所／北海道美瑛町「ラベンダーの道」／内山弘道

新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 蔓延期での済生会富山病院の活動

富山県済生会富山病院 院長 堀江 幸男

トピックス

- 病院ビューイング初開催
- 世界糖尿病デーイベント2019開催
- 患者さん満足度調査
- 「少年野球時の市民公開講座」について
- 金山洋子さんの
瑞宝双光章授章祝賀会を開催して
- 心臓病教室の開催
- 「とやま健康企業宣言」について
- 初診時・再診時選定療養費について
- センター・診療科 開設のお知らせ
- ピカピカの臨床研修医です!よろしくお願いします
- 無料低額診療のご案内
- 新任自己紹介



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院
<http://www.saiseikai-toyama.jp/> hospital@saiseikai-toyama.jp

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
地域医療連携室
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 蔓延期での済生会富山病院の活動

院長 堀江 幸男

昨年末に中国武漢市で発生したCOVID-19は、瞬く間に全世界へと拡散しました。日本においても全国的かつ急速な蔓延により、4月16日に全国47都道府県を対象に緊急事態宣言が出されました。幸いにも、感染拡大の防止措置や医療体制確保などが功を奏し、5月25日に全面解除となりました。しかし、今後も周期的に感染拡大が起こることが懸念されており、いわゆる「3密」を避けるなど、「新しい生活様式」への切り替えが必要とされています。

さて、全国の医療現場においても未曾有の状況に混乱を極めました。昨今、感染症が減少し非感染性疾患の治療が重点的に進められる中、今回のCOVID-19の蔓延により、感染症流行の非常事態下における地域医療提供体制の問題が浮き彫りになりました。また各医療機関においては、急性期、回復期そして生活期を問わず、院内感染の防止を図りながら地域社会の期待や要望に如何に応えるかが課題となりました。

そこで当院では、まず職員自身が感染しないために標準予防策の周知と適切な个人防护具装着の指導を行ないました。さらに感染者の院内侵入を防ぐ策として、職員や委託業者の健康管理の徹底、体温測定による外来トリアージと待機場所の分離などを実施しました。次に感染者を隔離する策として、個室管理の徹底と、ゾーニング(空間を用途別に分けて配置する)対策した感染症病床の設置を行ないました。患者さんや関係者のご理解を得ながら、外来でのリハビリ治療と健診部門の一時休止、電話診療への変更、外出・外泊禁止と面会禁止なども併せて実行しました。その結果、皆さまに安心していただける院内感染防御のレベルまで到達したと考えています。

富山県内の医療や介護施設でのクラスター発生により感染症指定届出機関が逼迫する中、当院においては、本来担う救急医療や慢性疾患診療の継続に加え、行政からの要請に応じてCOVID-19診療にも携わりました。4月6日には帰国者・接触者外来を開設し、ドライブスルー方式によるPCR検査を354件(5月29日現在)行ない、感染症患者の入院は4月18日から17名受け入れています。コロナ第2波の到来が囁かれています。引き続き地域医療を担う社会的責任を果たしていく決意でいます。

新型コロナと共存する「ウィズコロナ時代」においては、疾病の感染拡大を防ぐため、身体的距離を保つことが求められています。私たち済生会富山病院の職員は、距離は離れても、皆さんの心に寄り添う気持ちを大切に持ち続けます。この試練と一緒に乗り切りましょう。

御礼

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| ◆患者 様 | ◆株式会社池田模範堂 様 |
| ◆カゴメ株式会社 様 | ◆株式会社サプラ 様 |
| ◆森永製菓株式会社 様 | ◆四川乃華 様 |
| ◆日本マクドナルドフランチャイズ法人株式会社アップライト 様 | |

(2020年6月15日現在)

新型コロナウイルス感染拡大の状況の中、当院職員が診療に従事していることに対して、多くの激励のメッセージと共に物資や食品などのご支援をいただき、誠にありがとうございました。

病院ビューイング初開催

経営企画室 吉村 英士

令和元年11月4日、病院内で、27名の患者さんと病院スタッフなどでサッカーJ3リーグ「カターレ富山VS福島ユナイテッドFC」の試合観戦をしました。

「スポーツの力で、不安やストレスを抱える入院患者さんたちに元気と笑顔を与える」「病院スタッフと患者さんとの信頼関係の構築」「サッカーや富山のサッカークラブを知ってもらう」「病院スタッフ間のコミュニケーション推進」などを目的として、「DAZN presents 病院ビューイング」と題し、NPO法人富山スポーツコミュニケーションズが3年前から主催されているもので、当院では今回初めて開催しました。

カターレ富山の戸根選手やマスコットキャラクターのライカくんなどとのふれあい、サポーターによる応援レクチャーなどもあり、楽しみながら応援することができました。患者さんは気分転換になり良い表情をしておられ、選手が得点すると歓声が沸き起こり、元気に盛り上がっておられました。



世界糖尿病デーイベント2019開催

糖尿病・内分泌内科 伊藤 みか

11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせ、当院では、11月15日に糖尿病の予防・治療の啓発イベントを開催しました。1階エントランスでは、体験・相談コーナーを設け、血糖測定や運動体験、栄養や薬の相談、足のチェックやお手入れなどをアドバイスするフットケアを催しました。

また、2階の研修ホールでは「市民公開講座：下肢血流不全に対する最先端治療—下肢切断を防ぐために—」を開催し、糖尿病も原因となりうる下肢血流不全の症状や治療法について、内科部長の茶谷健一先生が講演されました。参加者の皆さんは、管理栄養士が考案した糖尿病弁当を食べながら、興味深く真剣な眼差しで話を聞いていらっしゃいました。

このイベントは、患者さんやそのご家族、地域住民の皆さんに糖尿病に対して関心をもって

知識を高めていただくことを目的にしており、今後も広く予防や治療の情報を提供していきたいと考えています。



患者さん満足度調査の結果

(令和元年11月25日～11月27日実施 回答者数715人)

当院は、患者さんやご家族にとって満足度の高い医療サービスの提供を心がけています。このため、今後のサービス改善を図ることを目的に、定期的に患者さんの満足度調査をしております。

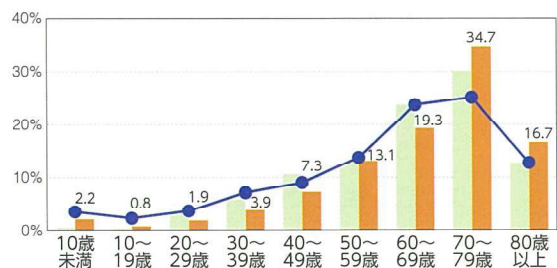
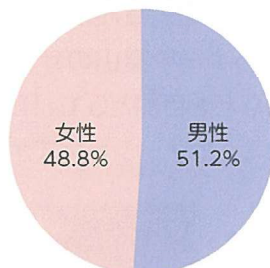
このたび、令和元年度の調査結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

調査は、外来は3日間、入院は2ヶ月間、アンケート用紙を配布し、ご回答いただいた結果を外部機関が集計し、当院の前年および他の調査病院の結果※を比較検討いたしました。

※「他の調査病院の結果」とは、当院が分析を依頼している調査研究機関がデータを有する病院(全国の124病院、(公立病院49病院、公的病院34病院、医療法人等41病院、)平均病床数406床、平均外来患者数784人/日、平均科目数19.9科、平均職員数622人と比較しています。)

1. 回答者の性別・年齢

回答者の性別は、男女ほぼ同数でした。年齢は、昨年に比べて70歳以上の方が増加し、全国の調査病院平均と比べても70才以上の方が多く結果でした。また、回答者の半数が70歳以上でした。富山県民の高齢化を反映しているもののでしょうか。



単位: % (複数回答) 緑: 当院(前回) 赤: 当院(今回) 青: 調査病院平均値

2. 診察待ち時間

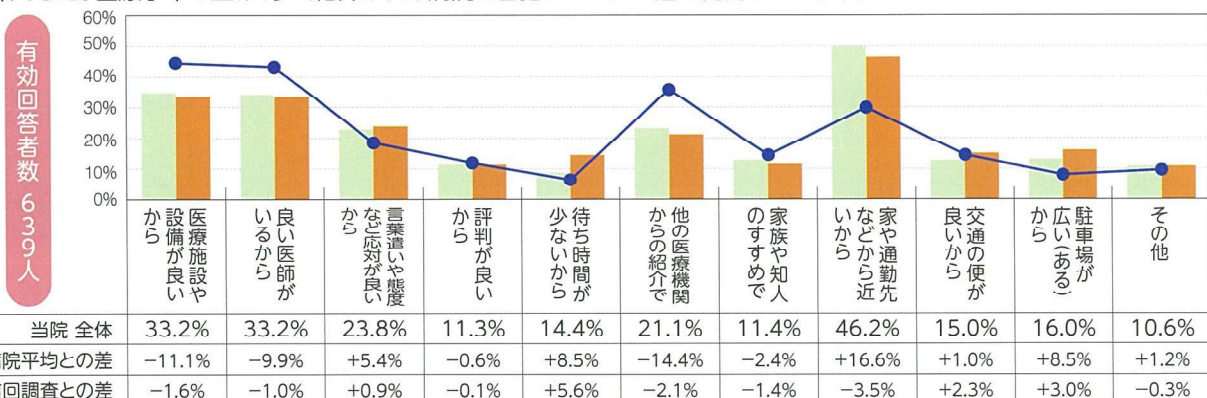
(受付から診察までの待ち時間)

診察待ち時間の平均は、昨年に比べ5分長くなっていました。特に予約ありの方で10分長くなっており、今後早急に改善に取り組みます。一方、予約なしの方の診察待ち時間は、対策を立て短縮に取り組んだためか、18分の短縮が得られました。

	当院(今回)	当院(前回)
平均待ち時間	52.1分	47.2分
予約あり	51.7分	41.7分
予約なし	55.4分	73.7分

3. 当院の選択理由

当院は「近く、駐車場が広く、待ち時間の少なく、対応の良い」病院として選ばれているようです。昨年よりも「待ち時間の少なさ」の評価が高まっていました。全国の調査病院に比べ、「他からの紹介、施設や設備が良い、良い医師がいる」などの理由が少ない結果でした。医療水準を上げ、多く紹介される病院を目指してなお一層の努力いたします。



単位: % (複数回答) 緑: 当院(前回) 赤: 当院(今回) 青: 調査病院平均値

4. 施設面満足度

施設面満足度は、全国に比べ良好でした。多くは昨年に比べ向上しましたが、「売店、食堂、自動販売機」と「案内看板や表示のわかりやすさ」が低下しました。エントランスホールの改修も原因の一つと思われますが、引き続き施設の充実を目指します。

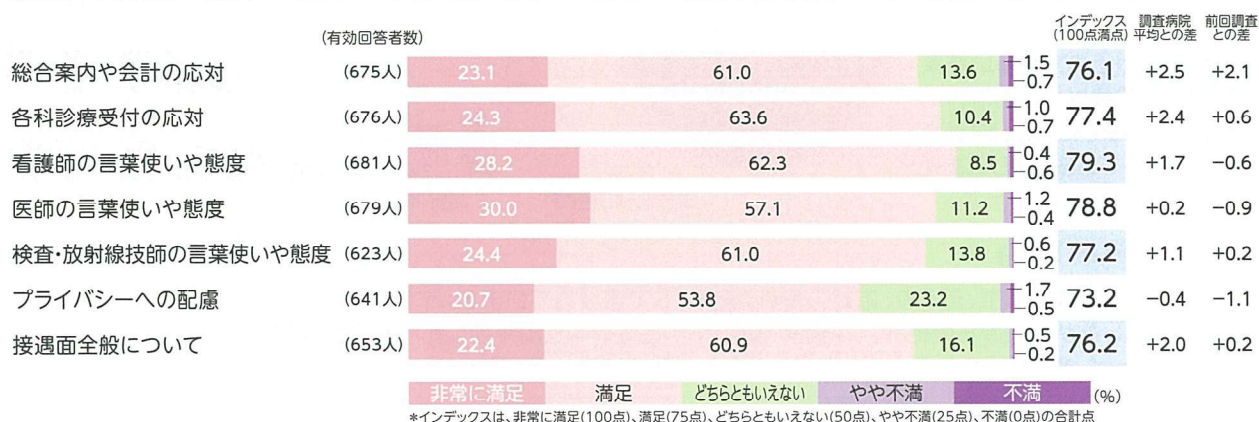
	(有効回答者数)	インデックス (100点満点)					調査病院 平均との差	前回調査との差	
交通の便利さ	(642人)	19.0	51.1	20.2	6.4	-3.3	69.0	+3.0	+1.3
駐車場の広さや入りやすさ	(662人)	17.1	53.8	19.0	9.1	-1.1	69.2	+12.5	+3.0
建物の外観やつくり	(656人)	15.9	63.0	20.1	0.9	-0.2	73.4	+7.7	+0.8
総合待合室の設備や雰囲気	(676人)	16.4	62.6	19.7	1.2	-0.1	73.5	+4.2	+1.4
各科の待合室の設備や雰囲気	(666人)	13.7	59.8	24.0	2.3	-0.3	71.1	+3.2	+1.1
トイレや洗面所設備	(671人)	15.5	56.8	22.2	5.1	-0.4	70.5	+3.2	+1.3
売店、食堂、自動販売機	(626人)	9.7	50.6	33.7	4.8	-1.1	65.8	+3.2	-1.5
案内看板や表示のわかりやすさ	(661人)	12.3	59.6	25.3	2.9	-0.0	70.3	+3.1	-0.2
清潔感	(671人)	17.9	64.5	16.4	1.2	-0.0	74.8	+4.8	+1.4
施設面全般について	(667人)	13.6	67.5	18.0	0.9	0.0	73.5	+5.6	+0.6

非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満 (%)

*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

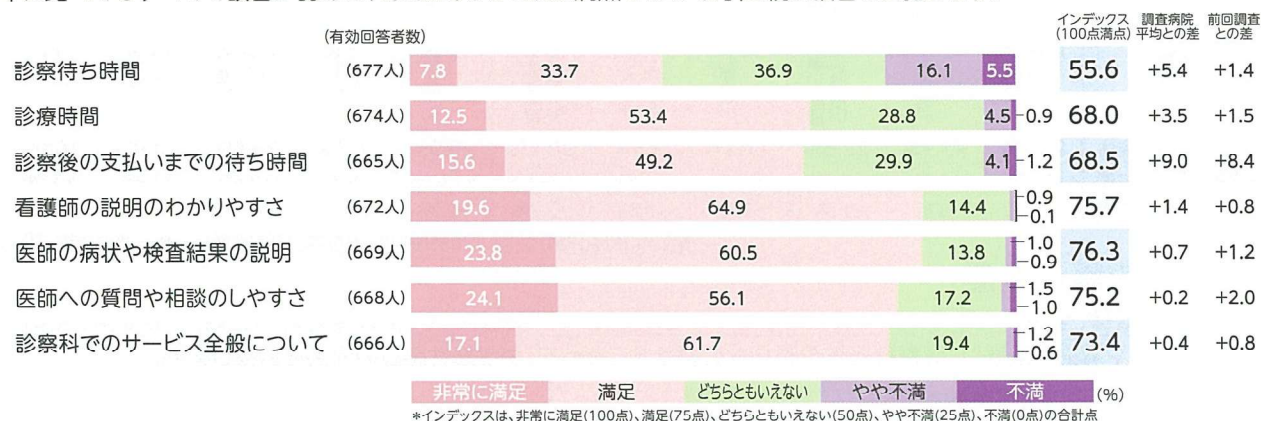
5. 接遇面満足度

接遇面満足度では、「プライバシーへの配慮」が全国に比べ劣っていました。さらに昨年に比べるとそれに加え「看護師、医師の言葉使いや態度」にも低下がありました。引き続き研修などを通じて職員の意識改革を目指し接遇の改善を目指します。



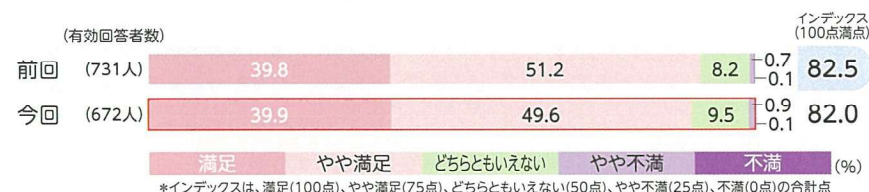
6. 診療・サービス面満足度

診療・サービス面満足度は全国に比べ良好で、特に「診察後の支払いまでの待ち時間」や「診察待ち時間」が高評価でした。昨年に比べてもすべてで改善が認められました。しかしまだ満点ではなく、引き続き改善を目指します。



7. 全体満足度

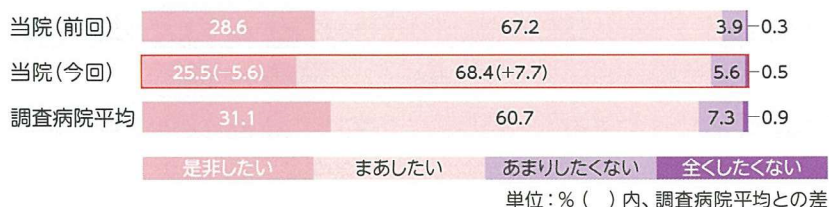
全体満足度は昨年に比べやや低下し、「やや満足」が減少し「どちらともいえない」が増えていました。個々には満足度は高まっているものの、全体では、まだまだ改善が求められているようです。



8. 紹介・推薦意向

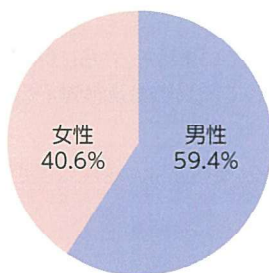
紹介・推薦を「是非したい」方が全国に比べても、また昨年に比べても減少していました。引き続き医療水準を向上させ、施設・サービスを充実させて、他人に紹介したくなる病院を目指す努力を続けてゆきます。

調査へのご協力ありがとうございました。

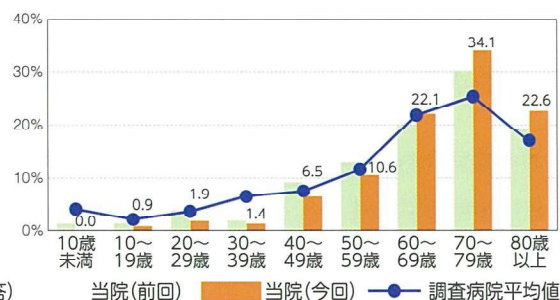


1. 回答者の性別・年齢

回答者は、男性が約6割でした。年齢は、昨年に比べて60歳以上の方が増加し、全国の調査病院平均と比べると70才以上の方が多結果でした。また、70歳以上の回答者が半数を超えていました。富山県民の高齢化を反映しているかもしれません。



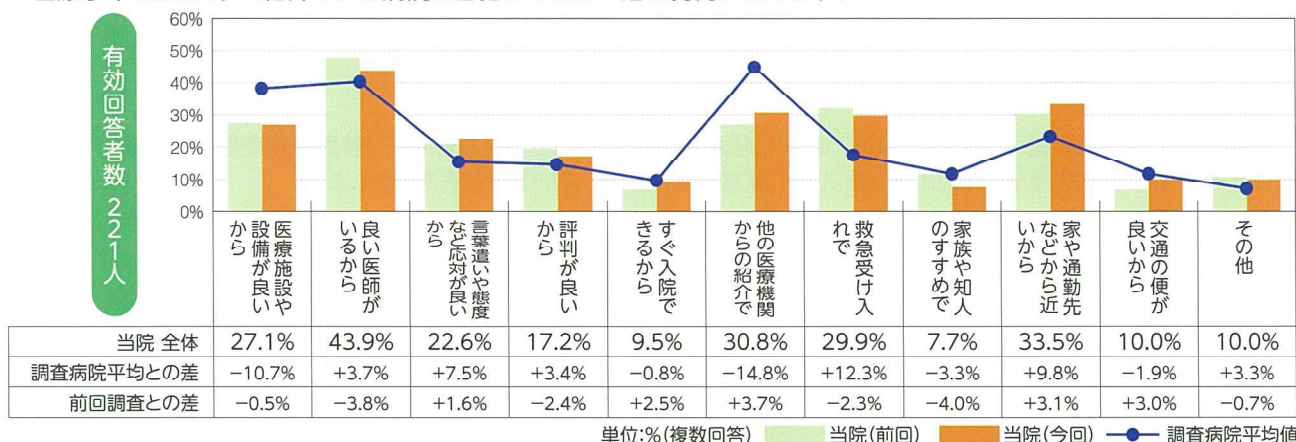
単位: % (複数回答)



2. 当院の選択理由

当院は「救急車で運ばれた、近くの、対応の良い」病院として選ばれています。昨年よりも「紹介、近所、交通の便」の評価が高まっていますが、「他からの紹介」や「施設・設備」による選択は全国平均に比べ劣るようです。

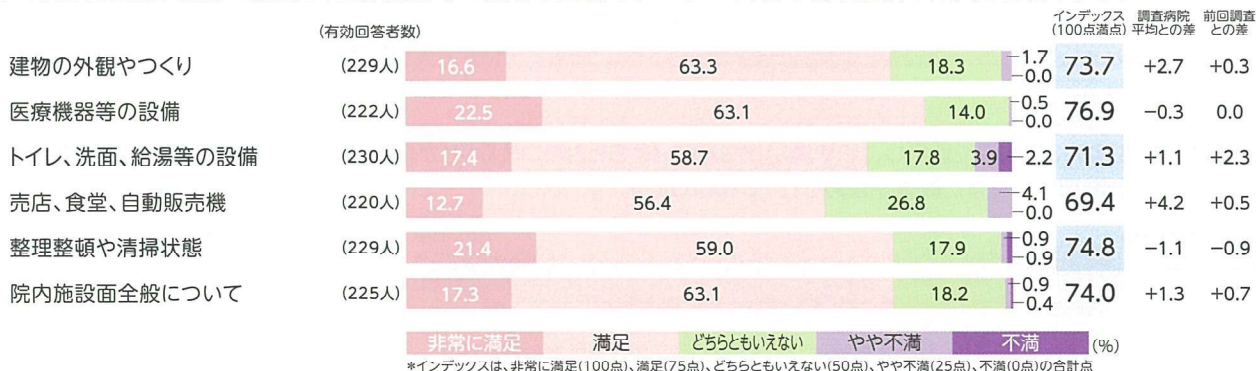
医療水準を上げ、多く紹介される病院を目指してなお一層の努力いたします。



単位: % (複数回答) 当院(前回) 当院(今回) 調査病院平均値

3. 院内施設面満足度

施設面満足度は、全国また昨年に比べ良好でしたが、「整理整頓や清掃状態」や「医療機器等の整備」でやや劣っていました。整理整頓や清掃を徹底し、医療機器等の適切な整備をおこなって、引き続き施設の充実を目指します。

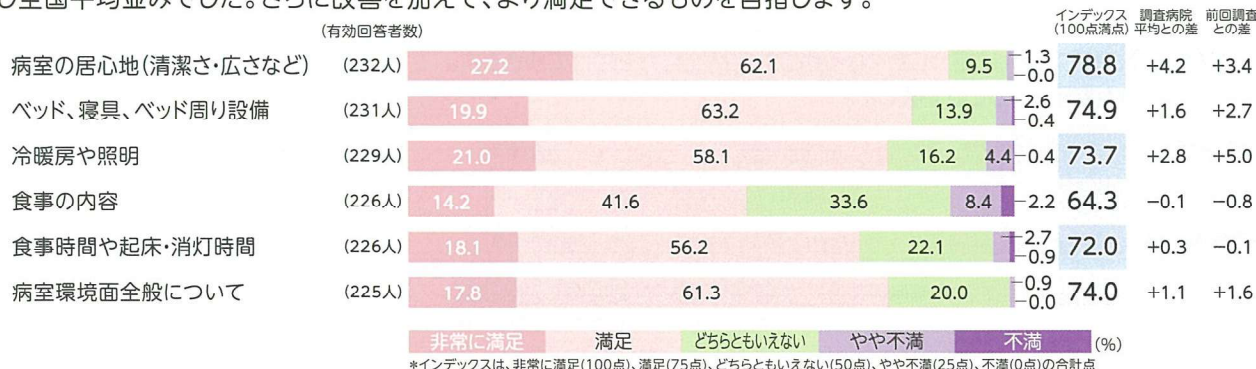


非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満 (%)

*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

4. 病室環境面満足度

病室環境面の満足度は、全国に比べ、また、昨年に比べ改善していました。「食事の内容」の満足度が昨年より低下し全国平均並みでした。さらに改善を加えて、より満足できるものを目指します。

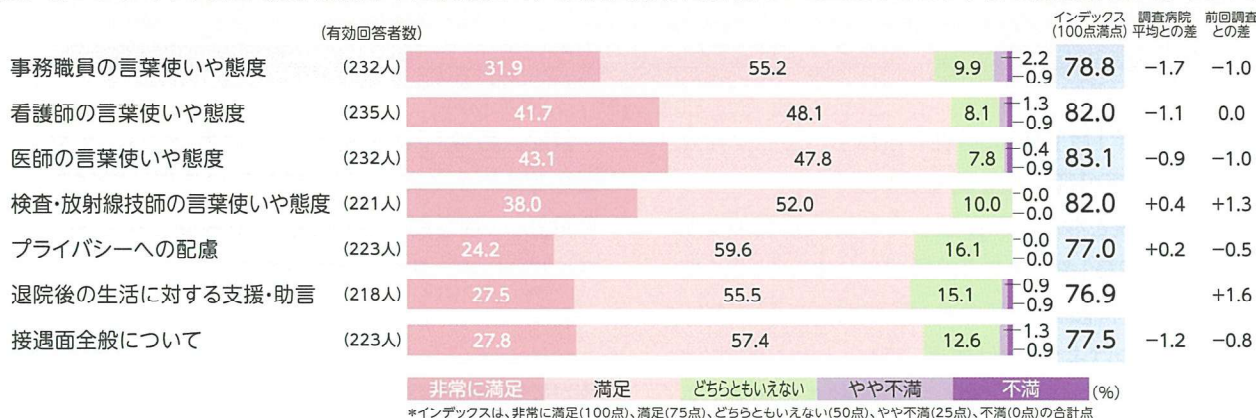


非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満 (%)

*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

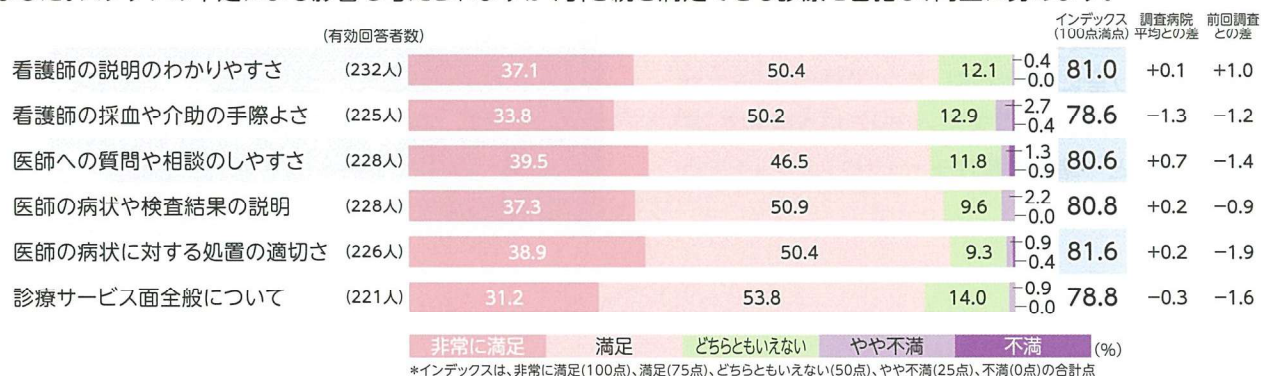
5. 接遇面満足度

接遇面の満足度は全国に、また、昨年に比べ低下していました。特に医師、看護師、事務職員の言葉遣いや態度の満足度が低いようです。検査・放射線技師や当院独自の入院支援は高評価をいただきました。今後も接遇改善に努めます。



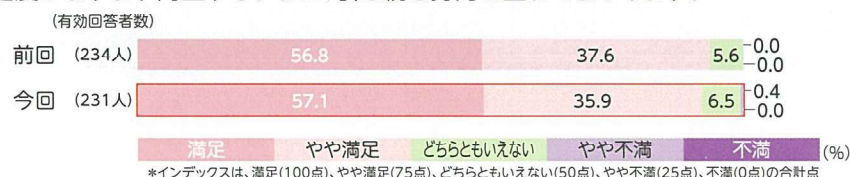
6. 診療面満足度

診療面の満足度は、全国に比べ「看護師の手際の良さ」が劣っていました。また、ほとんどの項目で昨年より低下していました。スタッフの不足による影響も考えられますが、引き続き満足できる診療を目指し、向上に努めます。



7. 全体満足度

全体評価では、「満足」の方が若干増えましたが、「やや満足」の方が減少し、「どちらともいえない」方が増えています。満足度がますます向上するように、引き続き努力を重ねてまいります。



8. 紹介・推薦意向

本院を紹介推薦したいと思われる方は、昨年と比べて「まあしたい」が減り、「あまりしたくない」が増えています。全国平均と比べても「是非したい」と答えた方が少ない結果でした。より良い評価を頂けるよう、引き続き改善を心がけてまいります。



おわりに

調査へのご協力ありがとうございました。当院を選択する理由として、「近くの」、「救急車で運ばれた」病院をあげる方が多い一方、「他の医療機関からの紹介」や「施設・設備」は少ない結果でした。地域の病院として見られている一方、医療水準の向上が望まれています。また、医師、看護師などの「接遇面の問題」や「待ち時間」、「院内施設」などの課題も明らかになりました。寄せられたご意見をもとに改善に努力して、これからも「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を目指してまいります。

「少年野球肘の市民公開講座」について

リハビリテーション科 理学療法士 瀬島 知治

令和2年1月13日に当院の研修ホールで少年野球肘の市民公開講座を開催しました。

3年連続となる今回は選手の参加人数増加を期待して「実技」を含めた3部構成にしました。第1部は整形外科藤井医師から「野球肘ってどんな病気?気をつけよう、投げすぎ、フォームと柔軟性」という題名で、野球肘についての理解を深めてもらいました。第2部は私から「一緒に学ぼう!!不良なフォームとその改善方法」という題名で、野球肘になりやすいフォームや正しい身体の動かし方、投球の練習方法を学んでもらいました。第3部からはリハビリ室に場所を移して、小中理学療法士から「野球選手に必要なストレッチ」という題名で、実際に選手と一緒に柔軟性チェックやストレッチを行いました。

参加人数は120名(約30%が選手)となり、年々増加傾向である為、今後も継続的に市民公開講座を開催し、野球肘で苦しむ選手や親御さんを少しでも減らしていきたいと思います。



金山洋子さんの瑞宝双光章授章祝賀会を開催して

副院長 千田 昌代

当院の前看護部長の金山洋子さんが、長年にわたり看護業務に従事された功績をたたえられ、令和元年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。「地域医療と福祉の向上」の実現に向けて看護職として精励され、認定看護師育成や訪問看護ステーション開設等にもご尽力されました。令和2年1月25日に、関係者を招待し、総勢130名の盛大な祝賀会を開催しました。たくさんの方々がいしに花を咲かせ、招待者の方からは「とても心温まる祝賀会ですね」との声が聞かれ、ご本人のお人柄が表れた会になりました。一番の盛り上がりを見せたのが3人のお孫さんからの花束贈呈でした。いつも嬉しそうにお孫さんのお話をされていたことを思い出しました。私たち職員にも家族の

ように温かく接し、親身になって相談に乗ってくださったことが印象に残っています。現在は、介護老人保健施設で看護介護部長として勤務されています。今後もますますのご活躍をお祈りいたします。



心臓病教室の開催

内科 大原 一将

令和2年1月28日に当院研修ホールで「心臓とからだ～心臓に触れてみよう～」と題して、心臓病教室を開催し32名の方にご参加いただきました。

もっと心臓を感じて欲しいと思い、ブタの心臓をそのまま解剖する体験型教室を企画し、今回で3回目の開催でした。目の前にブタの心臓がそのまま置かれると初めは皆さん少し身構えて心臓を眺めていらっしゃいましたが、いざ解剖が始まるとハサミとピンセットを使って積極的に参加され、心臓の内部を開き僧帽弁などの4つの弁が現れると、その巧妙さに驚かれ、心筋の厚みが場所によって異なることを実感いただけました。また冠動脈がどのように心臓を養っているのか、何度もその走行を確認しご自身の病気と照らし合わせる姿も見られました。

今後も心臓病教室を通して病気の理解が進み、地域の皆様の健康寿命が延伸し生活の質が向上するようお役に立ちたいと考えております。ご参加いただきましてありがとうございました。



「とやま健康企業宣言」について

事務部 経営企画室 前田 伸明

従業員の健康の保持・増進を進めるためには事業所での健康づくりが重要であると考えております。全国的に「従業員の健康は、労働生産性を高め企業価値の向上につながる」という『健康経営』に取り組む企業が増えてきています。

当院は医療機関として、よりワークライフマネジメントを推進し、働きやすい職場環境づくりを実現するために応募し、令和2年1月17日に協会けんぽ富山県支部より「健康企業宣言書」が交付されました。

富山県内における宣言事業所数は、393社(令和2年4月20日現在)です。健康経営に関する具体的な項目“Step1”は、健康経営に取り組むための基礎づくりであり、“Step2”では労働安全衛生を含めた健

康経営の展開です。

当院としては、Step2を目指して労働安全衛生委員会とも協力し、病院全体で取り組んでいきます。



初診時・再診時選定療養費について

医事課 森 雅宏

令和2年4月1日より、初診時選定療養費の改正と再診時選定療養費の新設を行いました。

当院は一般病床が200床以上ある地域医療支援病院のため、紹介状を持参されずに受診された場合、初診時に診療費とは別に初診時選定療養費として5,000円(歯科3,000円)【税込】をいただくことが義務付けられ、また状態が落ち着き、当院主治医が他の医療機関へご紹介した後、紹介状を持参されずに受診された場合、診療費とは別に再診時選定療養費として2,500円(歯科1,500円)【税込】をいただくことが義務付けられました。

当院を受診される際には、かかりつけ医などの紹介状をご持参いただきますようお願いいたします。

初診時・再診時選定療養費の金額

	医科	歯科
初診	5,000円	3,000円
再診	2,500円	1,500円

◆ 徴収の対象外になる場合 ◆

- 他の医療機関から紹介状を持参
- 二次健診で受診
(健康診断の結果をご持参下さい)
- 労働災害、公務災害、交通事故、自費診療

富山大学附属病院 膵臓・胆道サテライトセンター・形成外科 新たに開設!

昨年、富山大学附属病院に膵臓・胆道疾患に対して最高水準の診断・治療・手術を行う日本初の膵臓・胆道センターが設立され、当院にそのサテライトセンターを開設しました。

これは、大学病院と連携し、膵臓・胆道疾患の専門的・先進的な治療を行うことを目的としています。サテライトセンターは、県内では唯一、当院が認定されており、毎週定期的に大学病院の内科・外科・病理診断科・放射線科各専門医師と症例検討会を行い、患者さんの診断や治療に関する意見交換を行っています。さらに医師が大学病院と当院を行き来し検査や手術を行っており、患者さんも両病院の多様な選択肢の中から一番良い診療方法を選択して治療を行うことができます。

また、今年4月には形成外科を標榜しました。形成外科では、身体の表面の病気や外傷などによる形の異常を、手術や特殊な治療法を駆使して正常に治します。

受診については、外科外来窓口までお気軽にご相談ください。



ピカピカの臨床研修医です!よろしくお願いします

医師臨床研修部 久保 道也

今春に医学部を卒業して医師国家試験を合格した2名の研修医が、4月から当院で臨床研修を始めました。現在の、医師を育成するための制度は、専門分野を決める前に、2年間にわたって幅広い知識と技術を身につけるべく、各診療科を一定の期間ずつローテーションすることになっています。これからいろいろな経験を積んでたくましく育っていく姿を見ることは、職員一同にとってはまさに「育てる喜び」を感じる部分でもあります。済生会富山病院の忙しい研修プログラムに飛び込んできた前向きな2名の若者です。たとえ経験は浅くても情熱に満ちた目の輝きはベテラン医師にも負けないかと思います。きっと20年後には、富山県の医療を背負う大黒柱のような存

在になっているでしょう。病院全体で力を合わせて、医師として、医療人として、社会人として、育て上げていくつもりですので、皆さんも温かい目で見守ってください。



済生会富山病院では 無料・低額診療事業を実施しています



無料・低額診療事業とは、医療費を

減額

免除

できる
制度です。



生計困難な方が経済的理由により、必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。

例えば

このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、まずは医療福祉相談室へご相談ください。お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

患者相談窓口
(1階エントラホール3番)
TEL 076-437-1111(代)
月～金 8:30～17:30

毎月第2火曜日に
無料・低額診療
相談会を実施しています

場所: 患者相談窓口 時間: 9:00～12:00

相談は
無料です



ミッション(使命) 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

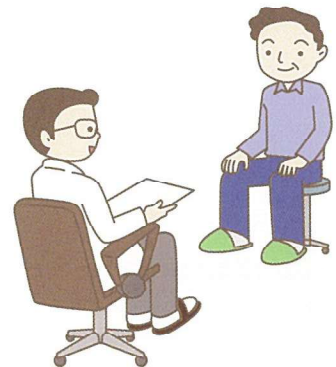
- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

行動指針 どのように考え、どのように行動するかの基本となる方針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします



患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます。

患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 診療行為に協力する責務
- 療養に専念する責務
- マナーや規則を守る責務
- 医療費を支払う責務



済生会富山病院報
くすのきだより

発行者

富山県済生会富山病院
院長 堀江 幸男

【編集委員会】 風 間 泰 蔵 加 藤 智 代
松 倉 裕 喜 久 保 道 也 堀 田 裕 子
西 川 和 良 神 保 江 梨 香 千 代 理 絵
佐 々 木 正 詞 前 田 伸 明 吉 村 英 士
和 田 温 子 高 柳 敦 子 牧 田 航 平
本 谷 あ て ね

令和元年度
ご寄付のお礼

佐伯 順子 様 石黒 重男 様
中川 清一 様

貴重なご厚志
ありがとうございました。